

東日本大震災&福島第一原発事故  
被災者支援チャリティコンサート

祈り・希望

Vol.9

<ご招待>

かみむらせいいち  
上村誠一さん

(カウンターテナー・国立音楽大学大学院修了  
福島県 郡山第二中学校 郡山高校合唱部出身)

おおつか ななこ  
大塚菜々子さん

(ピアノ・東京藝術大学器楽科ピアノ専攻卒業  
福島県 郡山第二中学校 東京藝術大学付属音楽高校出身)

2023年 4月29日(土・祝)

開演 15:00 (開場 14:15)

住友生命いずみホール

主催：チャリティコンサート「祈り・希望 Vol.9」実行委員会

後援：朝日新聞社 毎日新聞社 読売新聞社

# Program

## < I 部 >

### 1 関西合唱団

Sing  
ミュージカル「レ・ミゼラブル」より  
民衆の歌が聞こえるか

指揮 山本恵造                      ピアノ 門 万沙子  
作詞・作曲: J.ラポリ 訳詞: 星加ルミ子 編曲: 金井 信  
作詞: ジーン・マーク、ハーバード・クレツマー、アラン・ブープリル  
作曲: クロード・ミッシェル・シェーンベルグ  
日本語詞: 岩谷時子 補詞: 国鉄広島ナツパーズ 編曲: 武 義和

### 2 レガーテ

風よ ふるさとよ  
ミュージカル「リトルマーメイド」より  
アンダー・ザ・シー

指揮 山本恵造                      ピアノ 山下和子  
作詞: 木村 泉 作曲: 安広真理  
作詞: H. アシュマン 作曲: A. メンケン 編曲: 金井 信

### 3 豊中少年少女合唱団

アンパンマンのマーチ  
合唱のためのコンポジション 第7番 より  
マンモスの墓

指揮 西岡茂樹                      ピアノ 西岡恵子  
作詞: やなせたかし 作曲: 三木たかし 編曲: 石若雅弥  
作詞・作曲: 間宮芳生

### 4 コール大東

生きる  
スワニー(Swanee1919)

指揮 藤田一子                      ピアノ 門 万沙子  
作詩: 谷川俊太郎 作曲: 武 義和  
訳詞: Naomi Matsuzaka 作曲: G.ガーシュイン 編曲: 金井 信

### 5 平野雅世

埴生の宿 ~愛しき我が家・Home sweet home~  
オペラ「蝶々夫人」より  
ある晴れた日に

ピアノ 藤里香世  
作詞: J. H. ペイン 日本語詞: 里見 義 作曲: H. R. ビショップ  
作曲: G.ブッチーニ

### 6 豊中混声合唱団

祈る -長田弘の詩とヴォカリーズによる-

指揮 西岡茂樹                      ピアノ 武知朋子  
作詞: 長田 弘 作曲: 三宅悠太

~ 休憩 ~

# Program

## < II 部 >

### 7 河南混声合唱団

指揮 塩路史絵                      ピアノ 山下和子

日本中に歌声を「歌おうNIPPON」プロジェクト  
～東日本大震災の被災者の皆様へ～

前へ  
希望の灯(きぼうのひ)

作詞・作曲:佐藤賢太郎

作詞:K.グナチェク 作曲:I.ヴィリック 日本語詞:山ノ木竹志 編曲:山下和子

### 8 国鉄大阪合唱団 号笛

ピアノ 南村知佐恵

線路をつなげたい  
俺のハンマー

作詞:立山昭仁 補作詞:小林康浩 作曲:小林康浩

作詞・作曲:菊池利夫

### 9 貝掛混声合唱団

指揮 市原文子

Esta Tierra  
こころようたえ  
Veni Veni Emmanuel

作詞:Francisco Pino 作曲:Javier Busto

作詞:一倉 宏 作曲:信長貴富

編曲:MICHAEL JOHN TRROTA

### 10 上村誠一・大塚菜々子

ピアノ 大塚菜々子

主よ、人の望みの喜びよ  
歌劇「ロンバルディア王妃 ロデリンダ」より  
暴君よ、生きろ!  
歌をください

作曲:J. S. バッハ

作曲:G. F. ヘンデル

作詞:渡辺達生 作曲:中田喜直

### 11 合同合唱

指揮 上村誠一                      ピアノ 大塚菜々子

群青

作詞:福島県南相馬市立小高中学校平成24年度卒業生(構成 小田 美樹)  
作曲:小田 美樹 編曲:信長貴富



## ご挨拶

本日は、まだコロナのご心配もお有りの中、チャリティコンサート『祈り・希望 Vol.9』にお越しいただき本当にありがとうございます。

東日本大震災と福島第一原発事故から12年が経ちました。この長い年月、震災でご家族を亡くされた方、お家やお仕事を失くされた方にとっては悲しみ、苦しみの中での日々だったに違いありません。

とりわけ福島第一原発を抱える福島県では、汚染水の海洋放出など、新たな方針も出され放射能被害はとどまるところを知りません。また老朽原発の60年以上の活用や新設など原発回帰の動きもあり、福島県の方々のお気持ちはいったいどんなだろうと思います。

コロナウィルスが猛威を振るっていたこの3年。放射能とウィルスの違いはあるとはいえ見えない敵に怯える原発被災者の方の苦しみが重なって見えました。そして福島の方のこの閉塞感は、もう12年以上も続いているということに戦慄と怒りを覚えます。このことを決して忘れてはいけないと思います。

また、これまでの歴史で幾多の困難な中でも先人達が引き継いでこられた合唱という灯を灯し続けるためにも、今年も『祈り・希望』の開催を決めました。福島での2回の「響 ai コンサート」を含めれば10回目となります。

今回は福島出身、震災時中学一年生で合唱をされていた上村誠一さんと同級生で同じ合唱部のピアノを弾いておられた大塚菜々子さんをお招きすることができました。上村さんは歌曲がご専門ですが、深く合唱を愛する方で、いくつもの合唱団を指揮・主宰されています。また藤原歌劇団の平野雅世さんは今回も引き続きご出演くださいます。貝掛混声合唱団、河南混声合唱団、関西合唱団、国鉄大阪合唱団「号笛」、レガーテはお馴染みですが、今回は豊中混声合唱団、豊中少年少女合唱団も2度目の出演、そしてコール大東が初出演です。

コロナ禍も少しずつ収束の兆しを見せ、満席のお客様とともに本日が迎えられることを本当に嬉しく思います。

本日は、ご来場くださった皆様と共に、東日本大震災、また近年の災害で亡くなられた方々のご冥福をお祈りし、被災された方々に一日も早く心安らかな日々が訪れることを希って精一杯演奏したいと思います。

チャリティコンサート「祈り・希望 Vol.9」実行委員会一同

### これまでの経過ならびに今回の支援金について

Vol.3までのコンサートでは、皆様のチケット代金と出演者の参加費、協賛金、会場などでの募金を合わせた収入全てから、必要経費を除いた全額を、朝日新聞厚生文化事業団を通じ震災で両親を亡くした子ども達に贈られる「こども応援金」ならびに震災で被災した子ども達のためにと、合計で180万円余を寄付させていただきました。「こども応援金」が全額集まったということで、Vol.4～Vol.7は、何か子ども達の心に深く残るような支援がしたいと考え、福島から中学校の合唱部をご招待しました。また、Vol.5コンサートの余剰金は

熊本地震で大きな被害にあわれた帯山中学校の合唱部に、Vol.6では西日本豪雨で被害の大きかった広島にも義援金として送らせていただきました。コロナで中止となった響 ai コンサート Vol.3、祈り希望 Vol.8 については福島第一中学他4団体に、前回までの残金からカンパを送らせていただきました。

今回余剰金が出た場合は、福島県の合唱活動のための支援金と、トルコ・シリアへの義援金としてお送りしたいと考えています。ご賛同いただけましたら幸いです。

【実行委員会参加団体・個人】♪貝掛混声合唱団 ♪河南混声合唱団 ♪関西合唱団  
♪国鉄大阪合唱団「号笛」 ♪豊中少年少女合唱団 ♪コール大東 ♪豊中混声合唱団  
♪平野雅世 ♪レガーテ ♪ボランティアスタッフの皆さん

## 出演団体プロフィール・メッセージ

< 出演順 >

### 第1部

#### ♪ 関西合唱団(混声合唱団 大阪市)

1948年の創立以来、日本のうたごえ運動を大阪の地において推進して、いこうと音楽創造、演奏普及活動に取り組んできました。外山雄三、林光、池辺晋一郎、西村 朗、新実徳英、千原英喜、押尾コータローなど多くの委嘱作品の制作・初演と合わせて、「今何を歌うべきか」を考え、地域や職場に根ざしたうたごえの創作曲の創造、普及活動をすすめています。

毎年1回定期演奏会を始め、コロナ禍で中止していたうたごえ会、地域での演奏も再開しました。



こんにちは、関西合唱団です。東日本大震災からはや12年。しかし、福島県ではいまだに帰宅困難地域が残されています。被災地の復興を応援するとともに、わたしたちは3.11のことを決して忘れません。

今回はカーペンターズの「Sing」とミュージカル「レミゼラブル」より「民衆の歌が聞こえるか」を演奏します。2曲とも「さあ、うたおう」「さあ、列に入ろう」と呼びかけます。歌で連帯しようという気持ちを込めて歌います。

#### ♪ レガータ(女声合唱団 大阪市)

混声合唱団の中の子どもを持つ女性団員が「働きながら子育てしながらも歌い続けたい」と最初は数人で始め、今年で48年になります。現在団員は40名。ここ数年、どの団も同じと思いますが、広い練習場をもとめて転々としてきました。しかし、昨年度は第17回コンサート、おかあさんコーラス全国大会をはじめ、11回の演奏の機会がありました。コロナ禍でこのような活動が出来ていることは、本当に恵まれた団体だと思います。でも、まだ休団中の団員もいます。一方で新しい団員も加わって下さり、今日の舞台上で一緒に歌えることを嬉しく思います。

たくさんの方の被災地への思いの詰まったこのコンサートVol.9をコロナを乗り越え無事開催できること大きな喜びです。

本日、歌います「風よ ふるさとよ」は2011年秋、日本のうたごえ協議会が呼びかけた“原発ゼロの社会へ”歌づくりで入選詩に選ばれた山形の木村 泉の詩に安広真理が曲を付け、入選した曲です。震災の経験者でない私たちが歌ってよいのかという思いもありますが、日本がまた原発依存へと舵を切ろうとしている中で、福島第一原発事故のこと、今も苦しんでいる人がいるということを絶対に忘れないという思いを込めて歌いたいと思います。そして2曲目はミュージカル「リトルマーメイド」から「アンダー・ザ・シー」です。水を得た魚のようにピチピチと歌えますでしょうか？お楽しみください！

#### ♪ 豊中少年少女合唱団(豊中市)

「子どもだからこそ、心に深い感動を呼ぶ、本物の第一級の合唱作品を歌おう」を合い言葉に、大人の合唱団である豊中混声合唱団の支援の下、2001年2月に結成されました。

団員は、小学1年生から高校3年生までの約40名。豊中市のみならず、宝塚市、川西市、吹田市、大阪市などからも参加があり、毎土曜日の午後楽しく、真剣に練習しています。

豊中混声との共演や親子が共に歌う機会があること、高い技術力がなくても歌える、深く豊かな音楽性に満ちた曲を委嘱していることも大きな特徴です。宝塚国際室内合唱コンクールや関西合唱コンクールでも上位入賞しています。詳しくはホームページ、Facebookをどうぞ！



東日本大震災の直後から、被災地からのリクエストにより、「そだ うれしいんだ／生きる よろこび／たとえ 胸の傷がいたんでも」と歌われる「アンパンマンのマーチ」が頻りに流れたそうです。第二次世界大戦で従軍し、九死に一生を得た、やなせたかしさんならでは言葉が胸に響きます。

間宮芳生さんのライフワークとも言える「合唱のためのコンポジション」シリーズの中から第9番「マンモスの墓」を歌います。果てしない食欲が理由で滅んでしまったというマンモスの寓話は、どこか私たち人間の運命を暗示するかのようです。

## ♪ コール大東(混声合唱団 大東市)

コール大東は、1990年9月『愛と平和のコンサート ぞうれっしゃがやってきた』で一緒に歌ったなかまと、いつまでも平和のうたを歌い続けたいという思いから結成されました。そんな私たちも今年9月で結成33年目を迎えます。

記念コンサートは、コロナ禍で3年延期になっていましたが、『33(さんさん) 33コンサート』を9月24日(日)に開催します。ぜひ皆さん会場にお越しください。

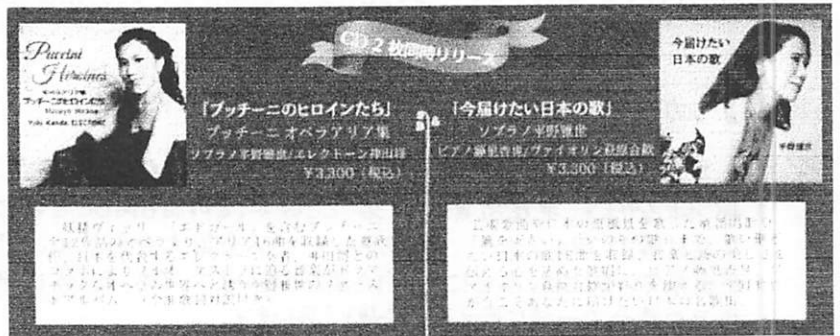


今回初めてチャリティーコンサートに出演させていただきます。曲目は、『生きる』と『スワニー(Swanee1919)』です。

谷川俊太郎さんの詩『生きる』では、『いま生きているということ』という言葉が何度も繰り返されています。『いま』という短い時間の中に〈永遠〉がはらんでいる、と谷川さんは語っています。いま、ここで、この時を皆さんと過ごすことの大切さ、そんな思いを込めながら歌いたと思います。

## ♪ 平野雅世(藤原歌劇団 ソプラノ)

大阪音楽大学卒業。文化庁海外研修制度で米国NYに留学。「蝶々夫人」「椿姫」「アイダ」「トゥーランドット」等多数のオペラに主演。関西二期会50周年「ドン・カルロ」「夕鶴」はメディアでも高評を得る。オペラ「遠い帆」で新国立劇場に出演。日生劇場「ランスへの旅」「愛の妙薬」、東京文化会館「カルメン」等関東でも出演を重ねている。藤原歌劇団団員。



本日はこのチャリティーコンサートで歌わせて頂けます事に心から感謝申し上げます。コロナを乗り越えた今、音楽の力、歌の力、生演奏の力を改めて実感しながら歌わせて頂きたいと思えます。

我が家に勝る場所は他にない、と自分にとって大切な場所、帰るべき大事な場所を思い歌った「埴生の宿」、そして日本の長崎を舞台に誇り高く生きた女性を描いたオペラ「蝶々夫人」よりある晴れた日に、この2曲を心を込めて歌わせて頂きます。

## ♪ 豊中混声合唱団(豊中市)

### 豊中混声合唱団 公募ステージ出演者募集

混声合唱と2台のピアノのための

てあひ

作詞・作曲 三善晃



2023年7月15日(土) 第62回定期演奏会(住友生命いずみホール)

指揮: 西岡茂樹 ピアノ: 武知朋子・森脇涼

豊中混声合唱団では、豊中市民協会の公募ステージに出演くださる方を募集します。合唱団員は、公募募集の募集、「てあひ」。

この合唱で生まれる人々の心と心との「つながり」をこのコンサートに込めています。皆様との「てあひ」から新たな歌声と音楽が生まれ、広がります。

お問い合わせ先: 豊中混声合唱団事務局  
〒595-8501 豊中市住友生命いずみホール  
TEL: 06-6442-1111 FAX: 06-6442-1112  
E-MAIL: info@toyonaka-chohoku.or.jp  
ホームページ: www.toyonaka-chohoku.or.jp



1941年の発足以来、大学生からシニア世代までの幅広いメンバーで、日本語による精神的・音楽的表現の豊かさをたゆまず追求し、「心からのうた」を歌い続けている。

毎年夏の定期演奏会や全日本合唱コンクールへの出場、大阪や豊中市をはじめ全国の合唱イベント参加のほか、姉妹合唱団「豊中少年少女合唱団」とのコラボレーションや大学合唱団とのジョイントコンサートなど児童・青少年との交流も行う。定期演奏会はこれまで61回、全日本合唱コンクールの金賞受賞12回を数え、ハイレベルで心に響く演奏をする合唱団として全国的に知られている。また、新しい作品の演奏にも積極的に取り組み、これまでの委嘱初演曲は24曲に及んでいる。音楽監督兼常任指揮者は西岡茂樹。

こんにちは、豊中混声合唱団(豊混)です。本日のチャリティーコンサートで、私たちは三宅悠太が、東日本大震災を契機に作曲した作品を演奏します。

7月15日(土)17時から、ここ「住友生命いずみホール」で豊混は第62回定期演奏会を行います。そこでは、この曲の他、人と人や自然との交わり、平和などをテーマにした、私たちが今歌うべきと考える曲を演奏します。皆様お誘いあわせの上ご来場をお待ちしています。

## ♪ 河南混声合唱団(羽曳野市)

大阪の南河内地域に根ざして活動しています。地域とのつながりを大切にしながら文化祭やその他の行事にも積極的に参加しています。団の結成 30 年をすぎ、これからも明るい未来へ向かって歩んでいきたいと、心をひとつにして歌い続けています。

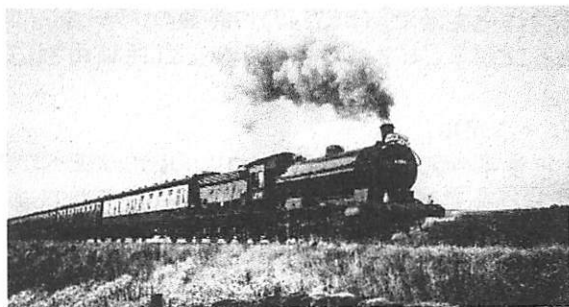
ウクライナでの戦いが今も続き、トルコでは大地震が occurred。心おだやかに過ごせない出来事が地球上を駆けめぐっています。しかし歌声はどんなところにも届けられます。

今回私たちはナターシャグジーさんが歌った「希望の灯」と 日本中に歌声を「歌おう NIPPON」プロジェクト～東日本大震災の被災者の皆様へ～ 「前へ」 の 2 曲を演奏することにしました。ひとりひとりの「思い」と「想い」をこめて歌います。

## ♪ 国鉄大阪合唱団「号笛」(男声合唱団 大阪市)

1987 年国鉄が分割民営化になれば、全国のローカル線は廃止され、利用者の足が奪われてしまう。そしてそこに働く人たちの仕事も無くなってしまうと、私たちは歌い続けて来ました。

京都・大阪・南近畿・神戸など、それぞれの地で歌い続けて来たサークル員が、1991 年の北九州門司で開催の「国鉄のうたごえ祭典」で号笛の名称で参加したのが始まりです。声が掛ければ何処へでも出前演奏。号笛の演奏には励まされると言われ、「人生の応援歌」をモットーに “おじさんたち” は今も歌い続けています。



今日は久々に皆さんと一緒に歌える喜びを感じています。

今回の演奏曲「線路をつなげたい」は、12 年前の東日本大震災で津波で飲み込まれた鉄道の復旧に携わる鉄道労働者の使命と誇りを歌っています。

いま、全国各地で災害で不通になった鉄道の復旧に着手せず、これみよがしに鉄道の廃止へと追い込んで行くともしています。

少人数での演奏。わくわくドキドキしながらの舞台ですが、私たち鉄道労働者の心意気が伝わればと思っています。

## ♪ 貝掛混声合唱団(混声合唱団 阪南市)



貝掛混声合唱団は、2002 年 4 月に大阪府阪南市で結成しました。当時、指揮者が顧問をしていた阪南市立貝掛中学校合唱部の卒業生が母体ですが、今では住まいも年齢層もさまざまなメンバーが集まって、日曜日の午前中に楽しく練習しています。練習場所は、南海本線尾崎駅近くの尾崎公民館です。【第17回定期演奏会 2023 年 8 月 6 日(日)14 時開演 阪南市サラダホール大ホール】ただいま団員募集中です。

みなさん、こんにちは。和歌山のちょっと手前、阪南市から来ました。チャリティーコンサートには、毎回参加させていただき、たくさんの感動をいただいています。今日は私たちのレパートリーを心をこめて歌います。お聴きください。

## ♪ カウンターテノール 上村誠一・ピアノ 大塚菜々子

### 上村誠一 KAMIMURA Seiichi

福島県郡山市出身。郡山市立郡山第二中学校、福島県立郡山高等学校卒業。国立音楽大学卒業、歌曲ソリスト・コース修了。同大学院音楽研究科修士課程修了。ヘンデル《メサイア》、J.S.バハ《ロ短調ミサ》・《クリスマスオラトリオ》など宗教曲のソリストを務める。これまでに声楽を紅林美枝、久保田真澄、上杉清仁、澤畑恵美の各氏に師事。

第 75 回全日本学生音楽コンクール全国大会声楽部門大学の部第 1 位。明治安田クオリティオブライフ文化財団音楽学生奨学金、国立音楽大学同調会奨学金 奨学生。大学院修了時、成績優秀により日本学生支援機構 大学院第一種奨学金返還免除 業績優秀者に選出される。

福島県合唱連盟創立 70 周年記念事業青少年選抜合唱団 テノールメンバー。第 8～12 回 JCA ユースクワイア・Salicus Kammerchor アルトメンバー。

高校卒業後に立ち上げた合唱団「花凜歌(かりんか)」の指揮者として、第 75 回全日本合唱コンクール全国大会に同団を導き、一般部門室内合唱の部にて銀賞受賞。

## 大塚菜々子 OTSUKA Nanako

福島県郡山市出身。郡山市立郡山第二中学校、東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校卒業。東京藝術大学器楽科ピアノ専攻卒業。ピティナピアノコンペティションB～F級全国大会出場、入賞、入選。北本ピアノコンクール第1位。栃木県ピアノコンクール最高位併せて日本人作品最優秀演奏賞受賞。第1回 Shigeru Kawai 国際ピアノコンクールセミファイナリスト。海外音楽大学マスタークラス派遣助成オーディション第1位。全額助成にてウィーン国立音楽大学のマスタークラスを受講。これまでピアノを渡辺健二氏、鈴木史絵氏に師事。フォルテピアノを小倉貴久子氏に師事。

### 〈メッセージ〉

皆さま、初めまして。福島県郡山市出身、上村誠一と申します。今回、この素敵な演奏会で演奏させていただけますことを心より嬉しく思います。

私たちの元気の源である「音楽」は、どんな時も私たちのそばにいてくれます。東日本大震災直後の傷ついた私たちの心を優しく包み込み、慰めてくれたり、癒してくれました。新型コロナウイルス感染症の拡大防止に努める今も同じように、それぞれの距離が離れていても、私たちの宝物である「うた」が人と人を繋いでくれます。

12年前、同じ福島県内から避難されてきた方々のもとへ慰問演奏に伺いました。そこで初めてお逢いした方々が、涙を流して聴いてくださったあの経験を忘れることができません。そしてその経験が、いま自分自身が音楽を続け、歌を学び続けている理由の一つであると確信しています。

今日ここでお逢いした音楽を愛する皆さまとともに、新たな歩みを進めて参ります。

### 〈曲紹介〉

・主よ、人の望みの喜びよ / J. S. バッハ

J. S. バッハ(1685-1750)1723年に作曲された教会カンタータ『心と口と行いと生活で』(BWV147)の終曲のコラール。結婚式やクリスマス、イースターなどのキリスト教の祝祭の季節に演奏されることが多く、ピアノソロや吹奏楽などにも編曲されている。

・歌劇「ロンバルディア王妃 ロデリンダ」より「暴君よ、生きろ！」 / G. F. ヘンデル

G. F. ヘンデルによって1725年に作曲されたオペラ・セリア。舞台は7世紀後半のランゴバルド王国。ロンバルディア王ベルタリードが一人身を隠していたところに、権力闘争の中で暴君となったベネヴェント公爵グリモアルドがやってきて眠りに落ちてしまう。それを見たグリモアルドの仲間であるトリノ公爵ガリバルドは、好機とばかりにグリモアルドを刺殺そうとするが、その卑怯な行動をベルタリードは許さず、ガリバルドを追い払ってグリモアルドを助け、声高らかに歌う。

・歌をください / 中田喜直

中田喜直(1923-2000)の最晩年1994年に作曲された作品。中田がこの世に残した思いの深さが歌われる。詩は渡辺達生によるもの。

## ♪合同合唱 「群青」

「祈り・希望」コンサートでは毎回出演者全員で合同合唱、客席の皆さんと全員合唱をしてお別れしてきました。今回はコロナも完全には収束しておらず、いつものような合唱はできません。でも最後に出演団体が数人ずつ集まって「群青」を歌うことにいたしました。

本日、ご招待した上村さん・大塚さんは、震災当時中学一年生で、南相馬と郡山の違いはあれ、まさに「群青」の世代です。合わせは本日の少しの時間だけしかできませんでしたが、気持ちを一つにして歌い、他の団員も心の中で歌いたいと思います。指揮は上村誠一さん、ピアノは大塚菜々子さんです。

### 合唱曲「群青」について

「群青」は、福島県南相馬市立小高(おだか)中学校の平成24年度卒業生と当時の音楽教師、小田美樹先生によって作られました。

小高中学校の校区は2011年の東日本大震災による原発事故のため、多くの住民が北海道から九州まで、散り散りに避難しなければいけませんでした。1年生の生徒は106名いたのですが、2名は津波の犠牲になり、多くの生徒が避難のために離れて行き、2年生に進級した生徒はわずか7名。

その生徒達が大きな日本地図に仲間の顔写真を貼り付けながら、「遠いね」「でもこの地図の上の空はつながってるね」など、ロ々につぶやき出したそうです。その日から小田美樹先生は生徒達のつぶやきを拾い、綴っていきました。

その生徒達の声をつなぎ合わせて歌詞がつくれ、それに小田美樹先生が曲をつけて出来上がったのが「群青」です。その後、全国津々浦々で歌われるようになり、今日までその輪はつながっています。

